



「グリーンインフラ (GI)」とは、自然が持つ多様な機能を賢く利用することで、持続可能な社会と経済の発展に寄与するインフラや土地利用です。

コンクリートを使う従来のインフラ (グレーインフラ) とグリーンインフラを融合したハイブリッドインフラ (HBI) が今後の持続可能なまちづくりには重要な視点となる可能性があります。本シンポジウムではこうしたグリーンインフラを考えたまちづくりのあり方を考えるため、流域治水でのグリーンインフラの役割、グリーンインフラを保全するためのコウノトリ保全活動について紹介します。

令和5年度 徳島大学地域交流シンポジウム (第20回)

# グリーンインフラと まちづくり

開催日 2023.6.10 [土] 14:20~17:00

会場 徳島大学フューチャーセンターA.BA  
(地域創生・国際交流会館5階)

+オンライン (Zoom) によるハイブリット開催



## Program

14:20-14:30

開会 日本環境共生学会会長 福田 敦 徳島大学副理事 山中 英生

14:30-15:10

第一部 基調講演  
「海陽町を対象とした水田の貯留効果と  
グリーンインフラ」

徳島大学理工学部長 教授 武藤 裕則

15:10-17:00

第二部 パネルディスカッション  
コウノトリと共存する農業と地域活性化

グリーンインフラ維持のための「社会システム」としてコウノトリ保全活動  
自然環境保護と地域経済、地域のつながり、レンコン、米づくりへの付加価値について議論します。

話題提供

(1) グリーンインフラとしてのコウノトリ

金沢大学先端観光科学研究所 教授 菊地 直樹

(2) とくしまコウノトリ基金のチャレンジ!

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 河口 洋一

(3) コウノトリが飛んできた!

鳴門市に残る酒蔵の取り組み

株式会社松浦酒造場 十代目蔵元・杜氏 松浦 素子

総合討論 司会：徳島大学副理事 山中 英生



# Green Infrastructure



令和5年度 徳島大学地域交流シンポジウム  
(第20回)

# グリーンインフラと まちづくり

定員

現地参加：50名程度

オンライン参加：100名程度

参加申し込み

5月31日締め切り

[https://forms.gle/  
wjC3pNb3D5HKtLPJ7](https://forms.gle/wjC3pNb3D5HKtLPJ7)



参加申し込みフォーム

主催

徳島大学人と地域共創センター  
日本環境共生学会

お問い合わせ先

徳島大学地域創生課地域連携係

E-mail: [chkoukenk@tokushima-u.ac.jp](mailto:chkoukenk@tokushima-u.ac.jp)

電話: 088-656-9752 (平日9:00~17:00)

FAX: 088-656-9880

# Green Infrastructure

## 登壇者の紹介



### 武藤 裕則

徳島大学理工学部長 教授

1965年大阪府出身。1992年京都大学大学院工学研究科修了。英国ブラッドフォード大学助手、京都大学防災研究所助手、同助教授を経て、2010年徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部教授。2022年徳島大学大学院創成科学研究科長・理工学部長。専門は河川工学、水理学。

2020年に採用された流域治水では、河川区域・集水域・氾濫域を含む流域全体であらゆる関係者が協働して水災害対策を行うことが謳われていて、実現には流域内のグリーンインフラを計画的に配置・保全し、貯留や遅延等の機能の発揮が重要となります。講演では、徳島県海陽町の大里・四方原地区を対象に、水田の氾濫水貯留効果を踏まえたその減災機能を紹介します。



### 菊地 直樹

金沢大学先端観光科学研究所 教授

兵庫県立大学/兵庫県立コウノトリの郷公園、総合地球環境学研究所を経て現職。専門は環境社会学。自然再生と地域再生、野生生物の保全と利用、ジオパーク、グリーンインフラ、レジデント型研究(居住する地域の課題解決を目指した研究)など、自然との共生に向けた領域融合的な実践研究を進めています。



### 河口 洋一

徳島大学大学院社会産業理工学研究部  
社会基盤デザイン系 准教授

特定非営利活動法人とくしまコウノトリ基金理事

2000年新潟大学大学院博士課程修了、博士(学術)。その後、九州大学助手などを経て2009年より徳島大学大学院准教授、専門分野は河川生態学、生態系管理学。北海道、佐渡島、徳島県などをフィールドに、森と川のつながり、トキやコウノトリの生息環境、吉野川の生態系ネットワーク、ダム下流における河川生態系などに関する研究を進めています。



### 松浦 素子

株式会社松浦酒造場 十代目蔵元・杜氏

創業1804年(江戸文化元年)鳴門市に一軒だけ残る日本酒蔵、松浦酒造場。日本酒やリキュールの製造・販売だけでなく、10年前にオープンした直売所が地域との関わりを深める拠点となり、観光事業にも取り組んでいます。